

新TLD導入の経緯と最新動向

2001年6月29日

第8回 インターネット・ガバナンスに関する研究会

(株)日本レジストリサービス

大橋 由美(OHASHI, Yumi)

yumi@jprs.jp

内容

- 新TLD導入の経緯
- 新TLDの特徴
 - .BIZ
 - .INFO
- ICANNの今後の動き

新TLD導入の経緯

経緯

- ICANN誕生前の1996年より民間で自主的に議論開始(IAHC)
 - .firm, .shop等を提案
- ICANNでは、1999.5から議論しつつドラフトを改版
- 当初の主なコンセンサス(ICANN提案)
 - 新TLDは必要
 - スモールスタートで少数のTLDを開設してみる
 - 商標権保護の仕掛けを最初から組み込む

著名商標保護に関する これまでの議論

- 課題

- gTLDにおいて、著名・周知商標を何らかの方法で保護するか
- 保護するとした場合、どうやって保護するか
 - Sunrise Period
 - Uniform Dispute Resolution Policy
- 保護対象の文字列はどんなものか

- 新TLD導入前のコンセンサス(DNSO WG-Bが中心)

- 現時点(1999年当時)では世界的に著名な商標のリストを待たずにTLD導入を検討する
- TLDのタイプにより商標の保護内容は異なる
 - たとえば、非営利組織だけを登録するgTLDと営利企業を登録するgTLDでは商標の保護内容は異なる可能性あり

新TLDの基本方針

- 安定性維持
- ドメインの多様性と利便性の向上
- 競争促進
- 適切な権利保護
- ドメインネームシステムの有用性向上

新TLD導入スケジュール

- 2000.7 ICANN提案資料に対するパブリックコメント締切
- 2000.8 新しいTLDレジストリ(とTLD文字列)募集開始
- 2000.10 募集締切
- 2000.11 ICANNが新しいTLDレジストリ(とTLD文字列)発表

申請書類項目例

レジストリオペレータ申請書

事業計画と能力

- 1 会社情報
- 2 現在と過去の業務内容
- 3 レジストリやインターネット関連の経験や活動
- 4 使命
- 5 ターゲットの市場
- 6 予想コスト／予算
- 7 予想需要
- 8 資本
- 9 保険
- 10 収益モデル
- 11 マーケティングプラン
- 12 レジストラと他の市場のチャネルの使用法
- 13 経営者と人員
- 14 人員／拡張能力
- 15 長期的取引契約／レジストリ不履行条項

技術計画と能力

- 1 物理的な設備
- 2 ハード
- 3 ソフト
- 4 施設とデータのセキュリティ
- 5 帯域／インターネットへの接続性
- 6 システム停止の予防策
- 7 システム復旧能力や手順
- 8 情報システムの安全性
- 9 負荷能力
- 10 スケーラビリティ
- 11 データエスクローやバックアップ能力や手順
- 12 Whoisサービス
- 13 ゾーンファイル編集方法
- 14 技術的なサポートや他のサポート
- 15 決済方法
- 16 経営者や人員
- 17 人員／拡張能力
- 18 レジストリ機能不全の際の安定性確保手段

申請状況

- 登録資格制限付/無制限
 - 申請によって、性格付けは様々
- その他の申請
 - .i
 - .health(WHO), .travel(IATA)
 - .museum(MDMA), .air(SITA)
 - .co-op(CLUA), .post(UPU)

TLD	申請団体数
.biz	5
.kids	4
.inc	3
.info	3
.nom	3
.tel	3
.web	3
.xxx	3
.ebiz	2
.firm	2
.pro	2
.shop	2
.site	2

新TLDの選定

- 47の新TLD申請が提出され、そのうち44団体、218のTLDが形式審査で残った
- 更に審査を重ね、2000年11月のICANN理事会で7TLDの導入が決定された

.BIZ	ビジネス用
.INFO	誰でも
.NAME	個人用
.PRO	専門職(会計士、弁護士、医者)用
.MUSEUM	博物館・美術館用
.AERO	航空業界用
.COOP	非営利協同組合用

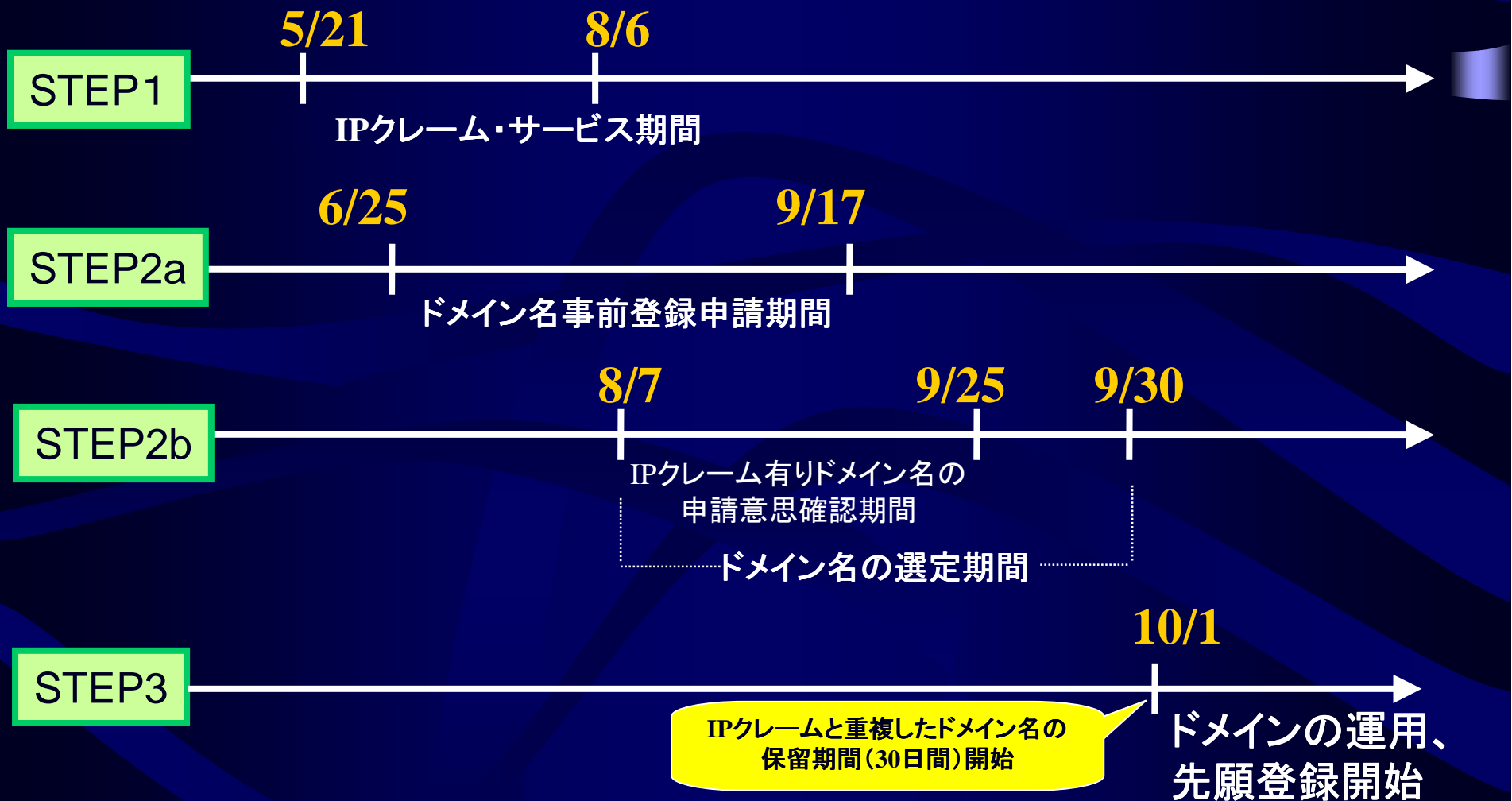
- 2001年5月、ICANN理事会が.BIZ、.INFOそれぞれとの契約を承認

新TLDの特徴 - .BIZと.INFO -

.BIZ

- 個人、法人の商用用ドメイン名
- レジストリはNeuLevel, Inc.
 - <http://www.nic.biz/>
 - NeuStar, Inc.とMelbourne IT, Ltd.との合併事業
- 2001/6/22、レジストラ77社（全世界のレジストラの95%）と契約したと発表

. BIZ登録申請スケジュール



* 2001/7/4現在、<http://www.neulevel.com>より抜粋して作成

IPクレーム(知的財産権申請)期間

- IPクレーム(知的財産権申請)期間
 - 5/21～8/6
 - 登録済みまたは申請中の商標、慣習法や判例法上の商標および屋号などの文字列の届け出を受付ける
 - 事前登録申請期間にのみ効力発揮。先願登録期間には効力および
 - IPクレームで申請済みの文字列と同一のドメインが他者から申請された場合、該当者に対して自動的に警告メールを送信し、そのドメイン名の申請を牽制する
 - 強制ではないのでドメイン名申請手続きは続行可能

事前登録申請期間

- 事前登録申請期間
 - 6/25～9/17
 - 登録者は先着順ではなく、期間終了後に抽選で決定する
 - IPクレームの申請者がどうかに関わらず無作為抽選
 - IPクレームの申請者以外が当選してしまう可能性も
 - IPクレーム申請者は、そのドメイン名について30日間の使用保留期間を申し立てることができ、登録者に対して「STOP (Start-up Trademark Opposition Policy)」により異議申立可能

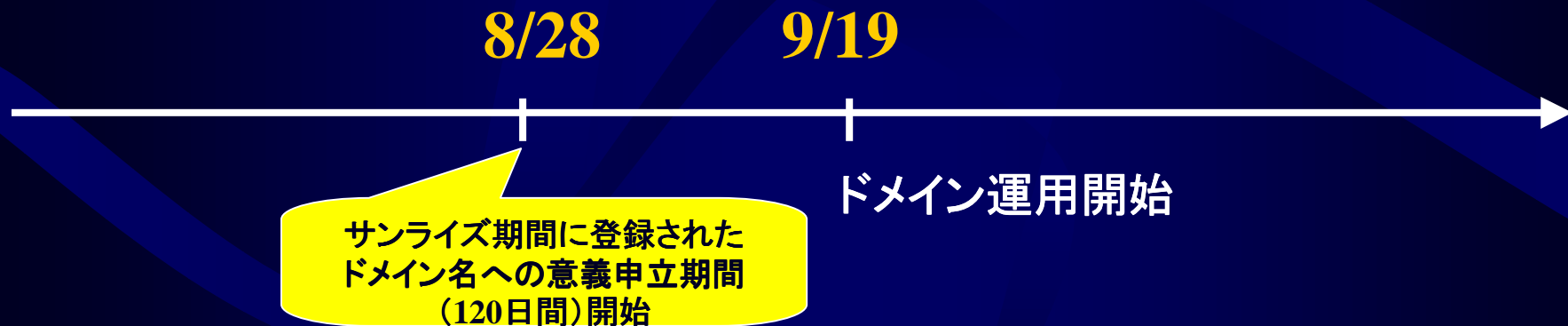
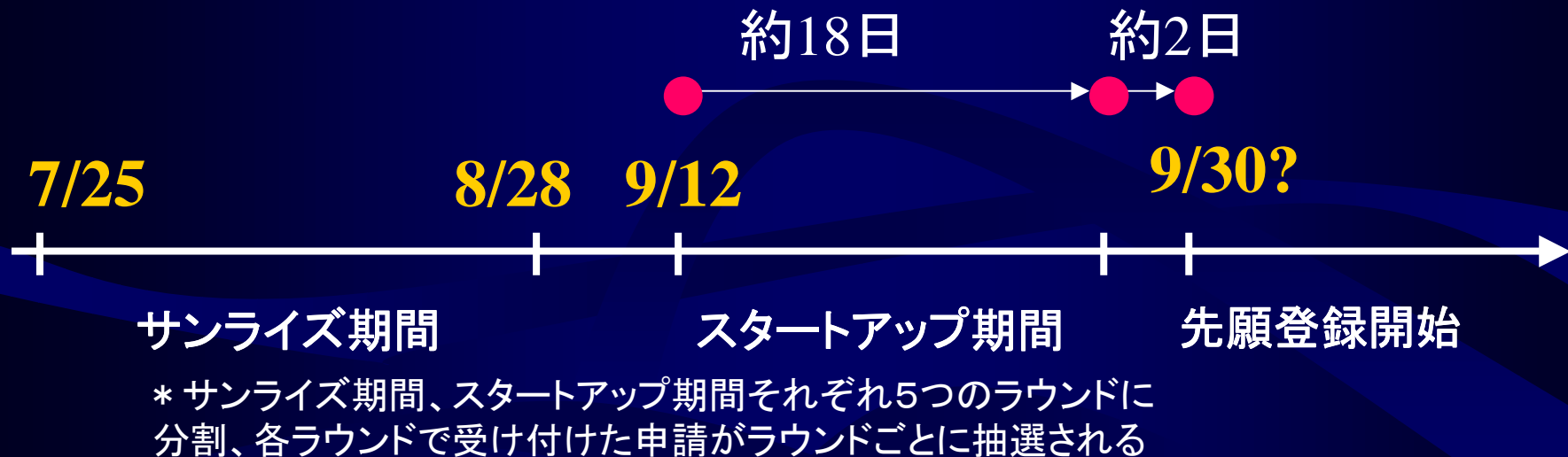
STOP

- Start-up Trademark Opposition Policy and Rules for .BIZ
- .BIZ開始時の紛争処理方針
- IPクレームの申請内容と同一文字列のドメイン名が登録申請されたときに、先願登録期間開始後30日間の保留期間が設定される。この間にIPクレーム利用者はSTOPを使うか否かを選択する

.INFO

- 個人・法人、営利・非営利に関わらず
登録申請可能
- レジストリはAfilias
 - <http://www.nic.info/>
 - 世界の18レジストラによるコンソーシアム

INFO登録申請スケジュール



* 2001/7/4現在、<http://www.afilias.com>より抜粋して作成

サンライズ期間

- 7/25～8/28
- 商標権者のための優先受付期間
- さらに数日単位の5つのラウンドに分割
- それぞれのラウンドで受付けた申請がラウンドごとに抽選される
 - 抽選結果が早くわかる

スタートアップ期間

- 9/12～(18日間の予定)
- 商標権者以外の申請を受付ける
- 5つのラウンドごとに抽選
- 期間終了2日後に先願登録開始

ICANNの今後の動き

新TLDモニタリングタスクフォース

- 2001年6月4日 ICANN理事会決議
- 新TLD導入の経過、影響を検討するタスクフォースをICANN理事会が設置する
 - 技術、ビジネス、法的観点から検討
- まずは検討スケジュールの策定から
 - 2001年9月のICANN会議にレポートを提出し、議論することを目途に